

理事長	施設長	相談員

社会福祉法人公生会 特別養護老人ホームとまとの里
令和7年度 第1回 運営推進会議 議事録 議事録作成：黒木

日時	令和7年5月19日(月) 14:00～15:00	場所	特別養護老人ホームとまとの里 地域交流室
参加者	ご家族	0名	
	城原地区自治会長		
	大在地域包括支援センター	1名	
	とまとの里職員	5名	

議 事

1.令和6年度満足度調査報告

入居者については相談員による聞き取り、ご家族については、質問用紙に回答頂く形で調査を実施。

ご家族からの評価については、各項目とも前年度より改善見られた。

入居者からは、改善の必要性を感じる内容のご意見を頂いた。(資料にフリー意見として記載)

施設長：入居者意見に関しては、内部研修等の機会に指導をしていきたい。

ご家族からの評価については、昨年度より改善している部分もあり、一定の評価は得られていると考えている。今後もサービスの向上を目指して運営していきたい。

家族向け通信に関しては、現在休止中であるが、SNSを利用した情報発信の準備を進めている

職 員：入居者に聞こえる場所で、排泄などプライバシーに関わる情報共有をすることはあった。

忙しい業務の中で、不適切な言葉かけをしてしまう事はあるかもしれない。

すぐの対応が難しいことを説明しても理解が得られない方への声掛けは難しい。

包 括：情報共有は、業務を行うにあたって必ず必要なので随時行うと思うが、利用者や家族への配慮は必要であると思います。利用者への声掛けは、多忙であったりすると雑になってしまうこともあるのではないかとと思うので、常に意識は必要かと思えます。

2.令和6年度事故報告書分析報告

安全管理委員会にて、前年度の事故報告書の集計を実施。集計内容は、総件数の比較、月別件数、種類別割合、発生・発見場所別、発生時間帯別とした。ひやりはっとの集計も実施はしたが、集計結果をどのように捉えかが難しく、今回の会議では割愛とした。

取り組みの成果：①報告件数の倍増 ②受診を伴う事故の減少 ③誤薬事故の減少

今後について：①発生要因のはっきりしている事故について、再発防止策を周知し各々が実行していくこと

②啓発活動の継続

③ひやりはっと(事故の可能性への気づき)の件数を増やし、積極的安全対策に取り組む

* 4.1～本日までの1か月半で21件のひやりはっと報告が上がっており、このペースでいくと年間で160件超の報告ペースとなっており、順調なスタートを切っている。

3.令和7年度運営報告、運営予定

◎運営報告 *詳細、資料参照

前年度より、各部署ごとの会議や看護・介護の連携会議が定着し順調に開催できるようになってきた。
今年度も流れを引き継ぎ順調なスタートとなっている

◎運営予定 *詳細資料参照

特筆すべき内容

- 5/21 消防点検、避難訓練(日中想定)
- 6月～ 令和7年度上期歯科・口腔機能健診
- 6月中旬・下旬 令和7年度第1回理事会・評議員会

4.意見交換・お知らせ

施設長:18日曜日に城原地区の方々のご協力を頂いて、お神輿と山車をグループ敷地で見せて頂いた。入居者様は手を振って下さったり、中身は涙ぐんでいる方もいた。
若いころにはお世話役だった方もいて、思い出すこともあったのではないかと思います。

相談員:入居者様の様子を見て、改めて日常生活の中の楽しみの重要性を感じた。
レク委員会の中でしっかりと話し合い、楽しみの演出を継続したい